



「防音室を病院へ」 ♪～M for M ご賛同のお願い～♪

M for M はチャリティコンサートを開催し、その収益で病院へ防音室の寄付を目指す団体です。防音室の寄付は、21歳で夭折したチェリスト山本栞路の生前の願いであり、その想いを恩師や仲間、両親が引き継ぎました。

山本栞路は2022年4月から300日以上入院生活を通して、音のない世界を経験しました。病院では楽器の演奏ができないのはもちろん、ささやくような声での生活を余儀なくされました。白血病を突然宣告され入院生活を送る中、右耳の突発性難聴を発症しました。左耳の聴覚をも失うことを恐れ、ヘッドフォンを使うことさえあきらめたために、闘病生活は精神的に過酷なものとなりました。

患者にとって心の健康は体の回復と同じくらい大切です。山本栞路は入院患者が自由に声を発し、音を体いっぱいを感じる環境が必要だと確信しました。防音室はそれに必要不可欠な設備です。

防音室は入院患者のためだけではありません。防音室があれば、医療従事者も長時間勤務で蓄積した心身のストレスを発散させることができます。それがひいては入院患者にプラスに働きます。

このような“心のリハビリ”は、病院の新たなサービスケアの一つになると考えます。入院患者には、社会復帰に向けて身体のリハビリ訓練を行うように、“心のリハビリ”ができる施設も必要です。それを実現するため、私たちは「防音室を病院へ寄付する団体」M for M を設立いたしました。

M for M は一つでも多くの病院に防音室を設置するために「メモリアル・スペラ」チャリティコンサートを中心に活動してまいります。2024年4月30日には、山本栞路の恩師・同志が集まり、第1回チャリティコンサートを開催いたしました。ご賛同くださる方は、下記QRコード(Google フォーム)にてご登録いただけますと幸いです。

ご賛同者のお名前は次回のコンサートのプログラムならびにM for M 公式ホームページに掲載させていただきます。お名前の掲載をご希望されない方はその旨ご連絡ください。

連絡先：M for M 発起人 山本昭夫
akio4151@yahoo.co.jp
080-8028-4225(ショートメール可)



さらにご寄付による賛同をいただける場合は、下記へのお振込みをお願い申し上げます。お振込後は上記までご連絡ください。その年度内に発売開始される「メモリアル・スペラ」チャリティコンサートチケットの先行販売をお知らせいたします。1か月以内に返信がない場合は、恐れ入りますが上記連絡先までお問い合わせください。

寄付振込先：京葉銀行四街道南支店（452）普通 4317271
エムフォアエム



(M for M 公式サイト)